

夢を紡ぐ^{つむ}
未来を織りなす風・林・火・山

山

の章

～いのちを紡ぐ～

夢を涵養する大地

周囲に聳える名だたる名峰

長い時のなかで、数多の恵みを運び、巨大な岩を侵食して、

肥沃の大地を形成してきた二本の清流

山紫水明の地 韮崎は、多くの夢を育んできました。

今までも、そしてこれから、 韮崎を見守り続ける七里岩と八ヶ岳

およそ7里(約28K也)にわたって続くことからその名がついた「七里岩」。先端部で平和観音が人々の暮らしを見守り続ける、韮崎の象徴的な存在です。

今から20～25万年前、八ヶ岳は火山活動の最盛期を迎え、阿弥陀岳付近を中心に噴火を繰り返していました。古阿弥陀岳を山

頂に、富士山のような山容をしていたと言われます。

現在の姿になったのは、20万年前のこと。大規模な山体崩壊が起こり、山頂が吹き飛ばされて、一気に低くなりまりました。そして、この

とき発生した大量の韮崎岩屑流が、長い時間をかけて釜無川と塩川によって浸食され、形成されてきたの

が七里岩台地です。

富士山と八ヶ岳が背比べをし、八ヶ岳が勝った。怒った富士山が八ヶ岳を蹴っ飛ばしたから、山頂が吹っ飛んで八つに割れてしまった——とお馴染みの昔話にある通り、八ヶ岳は本当に富士山より高い山だったのかもかもしれません。

「韮崎」～地名の由来

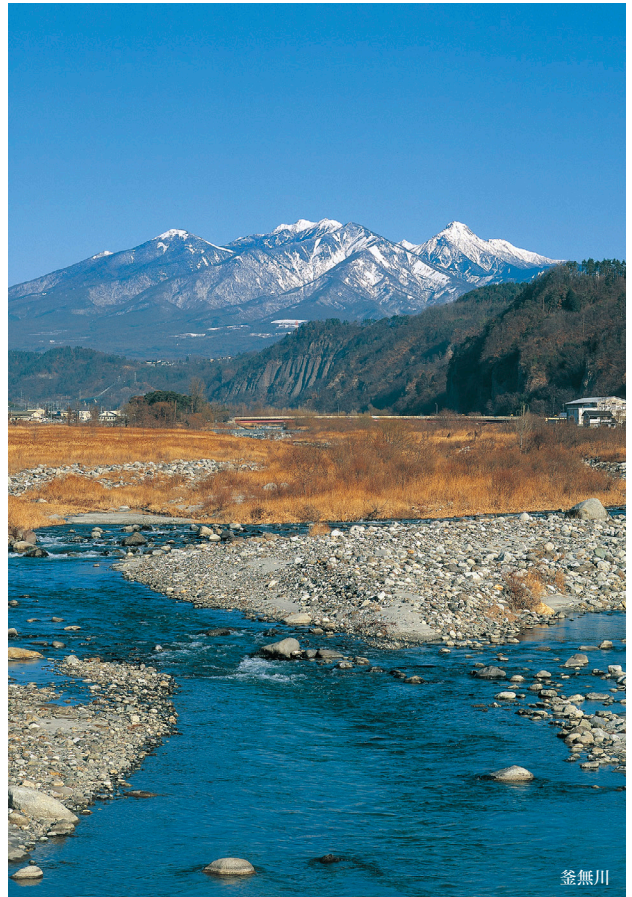
七里岩の先端部分が、「韮の葉先」に似ていることから、「にらさき」と呼ばれるようになったとも言われます。



七里岩の先端に建つ平和観音



紅葉に彩られた七里岩



釜無川

釜無川と塩川

市内を南下する2つの清流は、アユ釣りのメッカ。沿岸部には肥沃な水田地帯が広がっています。

さて、洪水の心配がないことから、太古の昔から先人たちが集落を形成して、暮らしを営んできた七里岩台地ですが、その側面は断崖絶壁で、高さ40〜150メートルもある切り立った崖が延々と続いています。

岩肌や洞窟には、「屏風岩」「伊勢山」「太子洞」などの名前も付けられており、まさに自然が創り出した芸術品。長い年月のなかで育った木々も四季折々に彩を添えて、美しい景観を創り出しています。

武田の里に咲き誇る、孤高の桜

葦崎段丘の中央、こんもりとした塚の中心で凛としたたたずまいを見せているのが、「わに塚のサクラ」です。

のどかな田園地帯の真中にただ一本、残雪の残る山々を背に堂々と咲き誇る姿は、潔さと気高さを漂わせ、見る者を魅了します。背景を飾る残雪の山々とのコントラストも美しく、また、夕闇の中ライトアップされた姿も幻想的です。

わに塚のサクラ

樹齢320年のエドヒガンザクラ。旧郵政省のポスターやドラマのタイトルバックなどにも使用されました。「わに塚」の由来には、塚の形が神社仏閣の軒に用いられる金属製の音具「罎口」に似ていることから、「罎塚」とする説、この地を治めていた日本武尊の皇子「武田王」の墓であるとの言い伝えから「王仁塚」とする説など諸説あり、本当のところはわかりません。



山の章

～いのちを紡ぐ～



花咲き競う麗しのふるさと

約60ヘクタールにも及ぶ
広大な面積が、桃色に染まる
新府の春。自然豊かな農
村風景が、色鮮やかに輝き
ます。四方には、富士山を
はじめ、八ヶ岳、茅ヶ岳な
ど、名だたる山々の雄姿。な
かでも一際目を引くのが、
残雪に輝く鳳凰三山です。

南アルプスの北端に位置
する鳳凰三山は、地蔵ヶ岳
(2764m)・観音岳
(2841m)・薬師岳
(2780m)の総称です。
1500万年前に地下深
部でマグマが固結して生成
された花崗岩類で構成さ
れており、岩塔や砂礫斜面
など独特な地形と岩山が
魅力です。これは、ちょうど
日本列島のもとが大陸か



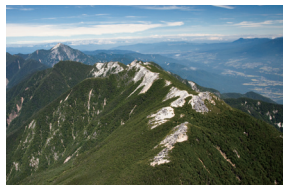
新府桃源郷

七里岩台地に広がる広大な桃畑。春ともなれば一斉
に花が咲き誇り、訪れる人を魅了します。山梨は日本
一の桃の産地。県内にはいくつもの桃源郷がありま
すが、新府は標高が高く、開花時期が遅いことでも知
られています。

ら離れて移動し、日本海が
出来た頃の地層です。薬師
岳周辺に見られる風化し
た花崗岩のマサ(※)もま
た、非常に珍しい現象です。

2014年、この鳳凰三
山を含む赤石山脈が、「南
アルプス生物圏保存地域」
の名称で、ユネスコエコパ
ークに登録されました。日本
列島の成り立ちを今に伝
える地質や、生物多様性に
富んだ自然環境など、南ア
ルプスにはさまざまな資産
があります。新府桃源郷や
甘利山、わに塚のサクラ、
地蔵ヶ岳の山岳信仰も、そ
の1部。未来につながるべき
私達の大切な財産です。

※砂礫中の水が凍って持ち上げられ、氷が
解けると移動する。これを繰り返すことで
より地表面に現れる、多角形や網状など
様々な模様を形成する構造土のこと。



南アルプス ユネスコエコパーク

3000m級の山々を13座も有する「赤
石山脈」を中心に、山梨、長野、静岡の
3県10市町村にわたる総面積302.47
ヘクタールの広大な地域が対象。国内
屈指の多雨多湿地帯であり、顕著な森
林垂直分布が見られるほか、氷河期の
生き残りと言われるキタダゲソウやライ
チョウを始めとする固有種や南限種が
生息し、準平原や氷河地形も数多く残
されているなど、豊かで貴重な手つか
ずの自然が広がっています。

甘利山のレンゲツツジ

標高1731メートル。南アルプス鳳凰三
山の前衛で、山梨百名山のひとつに数
えられています。山頂付近には、15万株
とも言われるレンゲツツジの群生地が
あり、例年6月の開花時期には、一面朱
色の絶景が広がります。また、市民団
体であるNPO法人甘利山倶楽部は、環
境教育活動や、草刈り、野鳥見学会とい
った自然保護活動を展開しています。





名峰に抱かれし豊饒の大地

日照時間日本一と言われる茅ヶ岳山麓。緩やかな丘陵地帯に広がる穂坂果実郷では、水はけの良い大地と朝夕の気温差のある気候に恵まれ、糖度の高い果物が栽培されています。さくらんぼやりんご：季節ごとにさまざまな果物が味わえる穂坂ですが、なかでも盛んに作られているのが、ぶどう。丘陵を覆い尽くすぶどう棚で、巨峰やピオーネといった高級品種からワイン専用品種まで、幅広く栽培されています。一斉に芽吹く初夏は、見渡す限りが緑色に輝く、最も美しい季節。そして、暑さとともにやってくる豊穡の



茅ヶ岳と深田久弥

1971(昭和46)年3月21日、作家 深田久弥は、茅ヶ岳の山頂付近で脳卒中を起こして急逝しました。登山口付近の深田記念公園には、「百の頂に、百の喜びあり」の直筆の書が刻まれた深田久弥の文学碑があります。また、毎年4月には久弥の遺徳を偲ぶ「深田祭」と記念登山が行われて、多くの人が参加しています。



穂坂果実郷

き。ぶどうの葉が色づく頃には、ワインの仕込みも始まります。

そんな果実郷の営みを見守り続けてきたのが、山梨百名山のひとつ茅ヶ岳です。『日本百名山』の著者 深田久弥が最も愛した山とも言われ、標高1704メートルの山頂からは、南アルプスの雄大な山々が眺望できます。



穂坂町 ぶどう

穂坂から生まれた ご当地ブランド

地域食品ブランド「穂坂町ぶどう」は、穂坂町にある200軒のぶどう農家の「自分達の町をぶどうで元気にしよう」という熱い思いから始まった「大プロジェクト」。「ぶどう」の名には、ジャワ語で「丘」を意味する「ブドル」と、「ぶどうをうる」という意味が込められています。地域力を結集して創り上げた、赤のスパークリングワイン「ヴァン穂坂」と、ジャム「ビジュード・穂坂」、コンポート「ソレイユド・穂坂」は、共に発売以来大好評。2014年のワイン特区認定を受け、次の展開にさらなる期待が高まります。



ヴァン穂坂



ソレイユド・穂坂



ビジュード・穂坂

夢をカナエル・カエル ～美しい自然とともに

葎崎に広がる美しい風景は、たくさんの恵みをもたらしてくれる宝物。一人ひとりが意識を持って大切な自然を守るとともに、地域の発展にも上手に活用して、未来へとつなげていきたいね。

